

これは計算書です。「認定申請書」を2枚用意してください

運用緩和 I

5号

業種確認・売上高計算書

5号(イ)⑩

■緩和を受ける理由：

■業種確認

・記入例をご確認のうえ記載ください。

・主たる業種が「指定業種」に属するか、確認してからご記入ください。

・事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。

・減少率 (A,B) が5.0%になった場合は、千円単位ではなく1円単位で記入 (入力) して再計算してください。

主たる業種名(ア)	具体的な事業内容(イ)

金融機関とりまとめ申請時は必須入力	
細分類番号(ウ)	指定業種名(エ)

※日本標準産業分類の指定業種名、分類番号と必ず一致させてください。

■売上高計算書

この計算書のA～Fは申請書のそれぞれの欄に対応しています。

(千円未満切り捨て)

最近1か月間の売上高

主たる業種の 売上高	年 月	企業全体の 売上高	Cの月
	C		D
	千円		千円

最近1か月を含む最近3か月間の売上高

主たる業種の 売上高	年 月	年 月	Cの月	最近3か月間の 合計売上高	最近3か月間の 平均売上高
	ア	イ	C	ウ=ア+イ+C	E=ウ÷3
	千円	千円	千円	千円	千円
企業全体の 売上高	カ	キ	D	ク=カ+キ+D	F=ク÷3
		千円	千円	千円	千円

【最近1か月の売上高の減少率】

$$\frac{E - C}{E} \times 100 = A \text{ \%}$$

主たる業種の
減少率 (実績)

#DIV/0!

※小数点以下第2位以下
切り捨て、第1位まで記
載

$$\frac{F - D}{F} \times 100 = B \text{ \%}$$

企業全体の
減少率 (実績)

#DIV/0!

※小数点以下第2位以下
切り捨て、第1位まで記
載

上記の内容について、事実と相違ありません。

年 月 日

社名・代表者名
(個人事業者は屋号・氏名)

金融機関、担当税理士等確認欄
上記内容について確認しました。

印

これは計算書です。「認定申請書」を2枚用意してください

運用緩和 I

5号

業種確認・売上高計算書

5号(イ)⑩

業種名については、必ず指定業種名通りに記載してください。

指定業種の一覧

- ・ 中小企業庁HP
https://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/sefu_net_5gou.htm

どの業種か不明な場合

- ・ e-Stat (政府統計の総合窓口)
<https://www.estat.go.jp/classifications/terms/10>

※委託製造の場合、製造業ではなく、卸売業に分類

■緩和を受ける理由：令和〇年〇月〇日に〇〇区〇〇町で〇〇業の新規店舗を開業したため

業種確認

- ・ 記入例をご確認のうえ記載ください。
- ・ 主たる業種が「指定業種」に属するか、確認してからご記入ください。
- ・ 事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。
- ・ 減少率 (A,B) が5.0%になった場合は、千円単位ではなく1円単位で記入 (入力) して再計算してください。

主たる業種名(ア)	具体的な事業内容(イ)
衣服製造販売	婦人服・子供服を製造販売している。 販売先は主に小売店。製造は外部工場に委託。

金融機関とりまとめ申請時は必須入力	
細分類番号(ウ)	指定業種名(エ)
5122	婦人・子供服卸売業

※日本標準産業分類の指定業種名、分類番号と必ず一致させてください。

売上高計算書

この計算書のA～Fは申請書のそれぞれの欄に対応しています。

(千円未満切り捨て)

最近1か月の売上高

	R3年7月		Cの月
主たる業種の売上高	C 1,500 千円	企業全体の売上高	D 2,000 千円

※「最近1か月」とは、申請月の前月または前々月を指します。

12月に申請の場合
<最近3か月での比較月例>
8月・9月・10月
または
9月・10月・11月

最近1か月を含む最近3か月の売上高

	R3年5月	R3年6月	Cの月	最近3か月の合計売上高	最近3か月の平均売上高
主たる業種の売上高	ア 1,800 千円	イ 1,700 千円	C 1,500 千円	ウ=ア+イ+C 5,000 千円	E=ウ÷3 1,666 千円
企業全体の売上高	カ 2,100 千円	キ 2,300 千円	D 2,000 千円	ク=カ+キ+D 6,400 千円	F=ク÷3 2,133 千円

【最近1か月の売上高の減少率】

主たる業種の減少率(実績)	企業全体の減少率(実績)
$\frac{E - C}{E} \times 100 = A$ <p>※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載</p>	$\frac{F - D}{F} \times 100 = B$ <p>※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載</p>
1,666千円	2,133千円

上記の内容について、事実に相違ありません。

令和3年8月1日

金融機関、税理士等の記入欄

社名・代表者名
(個人事業者は屋号・氏名)

●●株式会社
代表取締役 ●● ●●

金融機関、担当税理士等確認欄
上記内容について確認しました。

○○信用金庫○○支店
支店長 ○○ ○○ 印